施工説明書

TOTO

壁排水便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

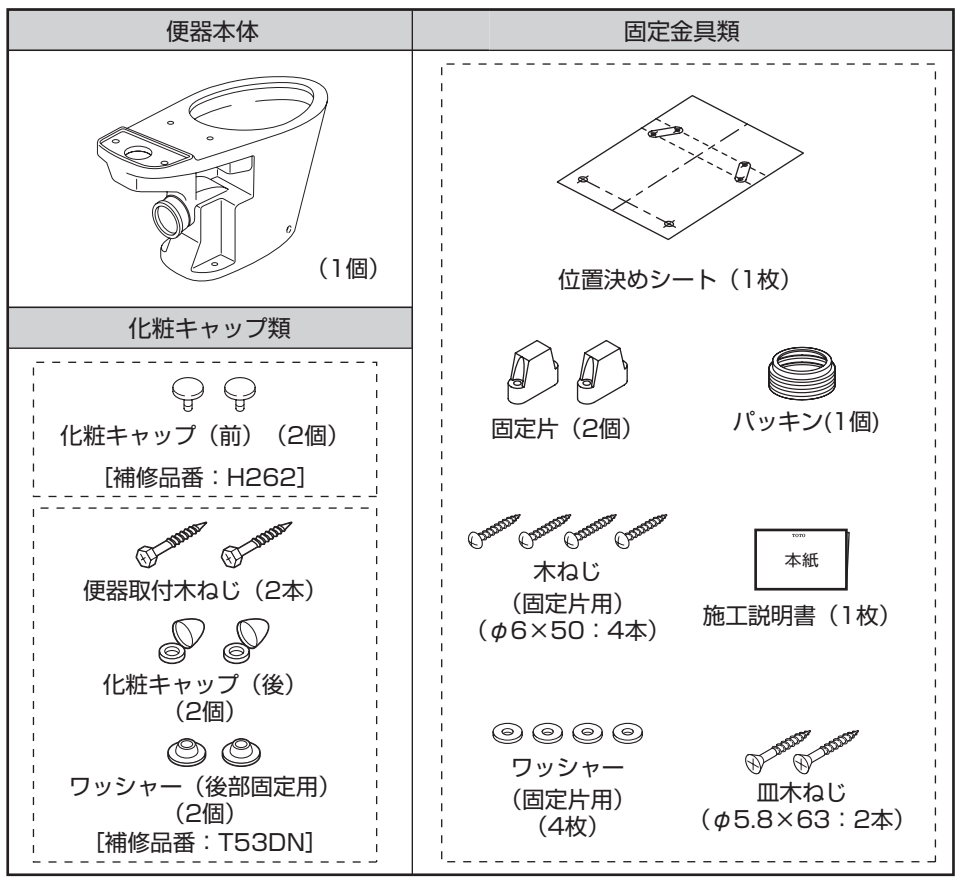
⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意

禁止	**便器に強い力や衝撃を与えない** 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。



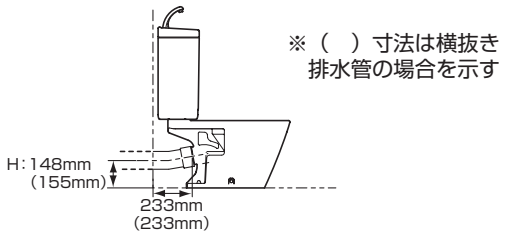
※ [　] の部品は補修部品として、購入できます。

取り替え対象便器の一覧

●下記品番からCS565BPに取り替えできます。

TOTO取り替え対象便器	C14P	C730P	C760P	C770P	C417	CS560BP

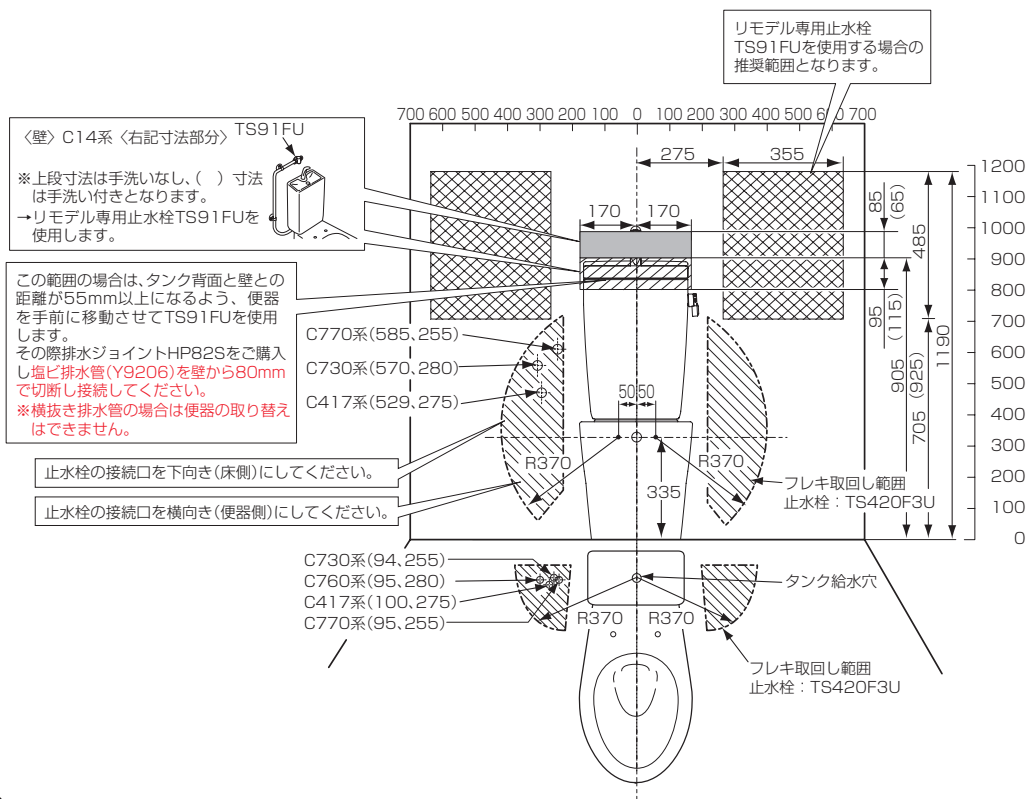
※壁から便器差し込み口までの排水管の寸法によっては、取り付けできない場合がありますので、事前に右図の排水管出代を233mm（233mm）以上確保されていることを確認願います。
233mm（233mm）以下の場合は仮合わせをしてタンクと壁が干渉しないことを確認のあとに施工してください。



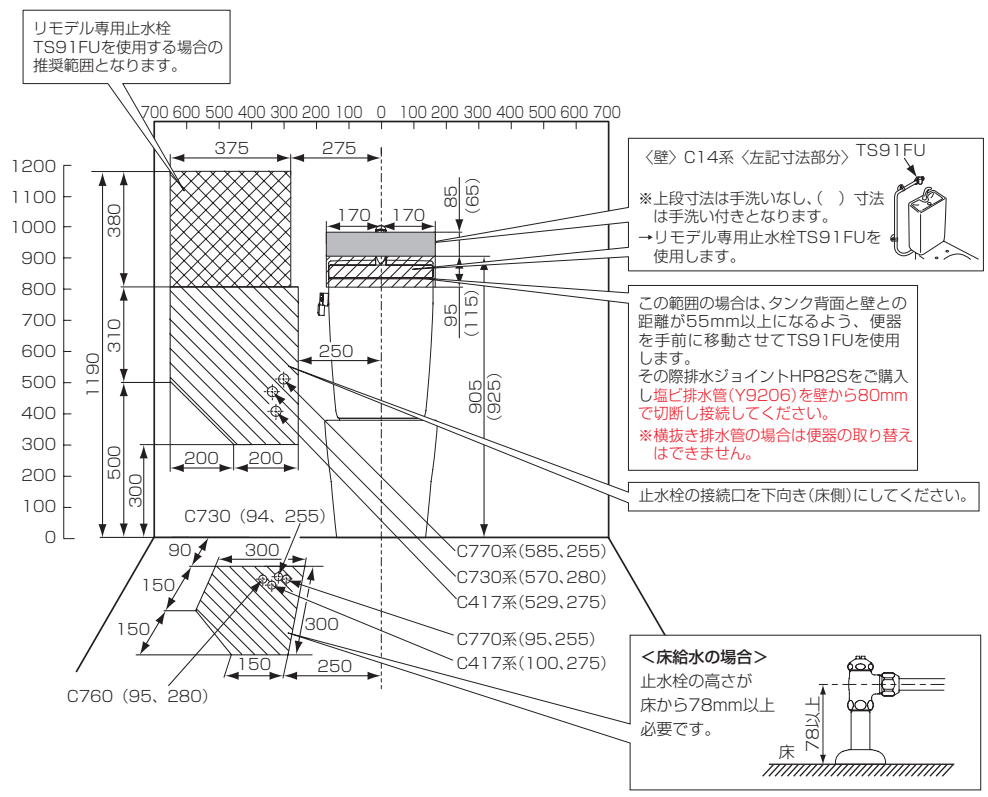
給水の使用可能範囲

上記「取り替え対象便器の一覧」からCS565BPに取り替えを行う際、タンクの給水フレキホース到達範囲は下図のとおりです。　（単位：mm）
ただし、C14系で取り出しがセンターとなる場合の使用可能範囲は下図の範囲内（ ▨ 、 ▬ ）となり、取り替え用給水金具を準備しています。

SH564BA、SH564BAK SH565BA、SH565BAKの場合 ［右レバー］

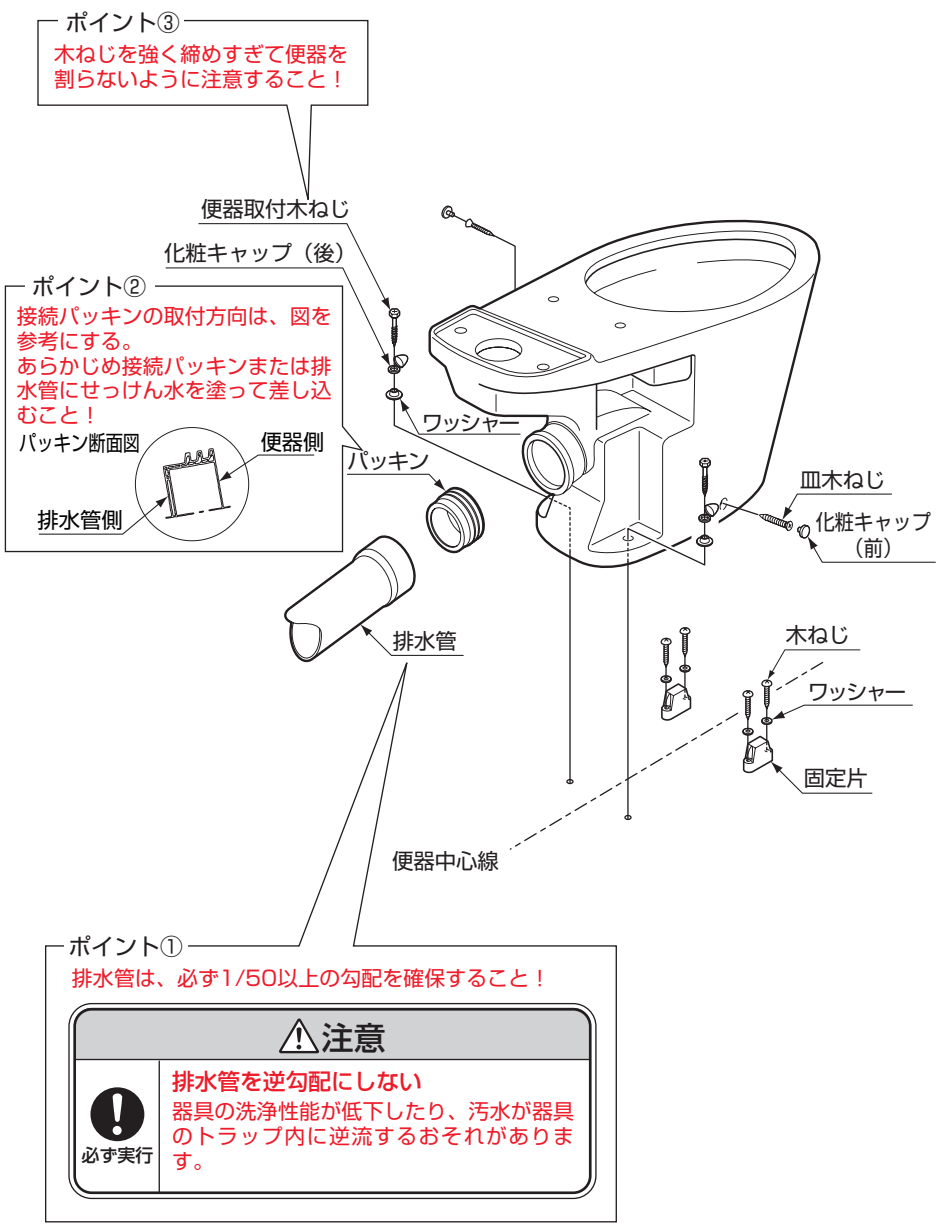


SS564BABLL、SS564BAKLL SS565BABLL、SS565BAKLLの場合 ［左レバー］



裏面につづく➡

各部のなまえと施工のポイント



⚠注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

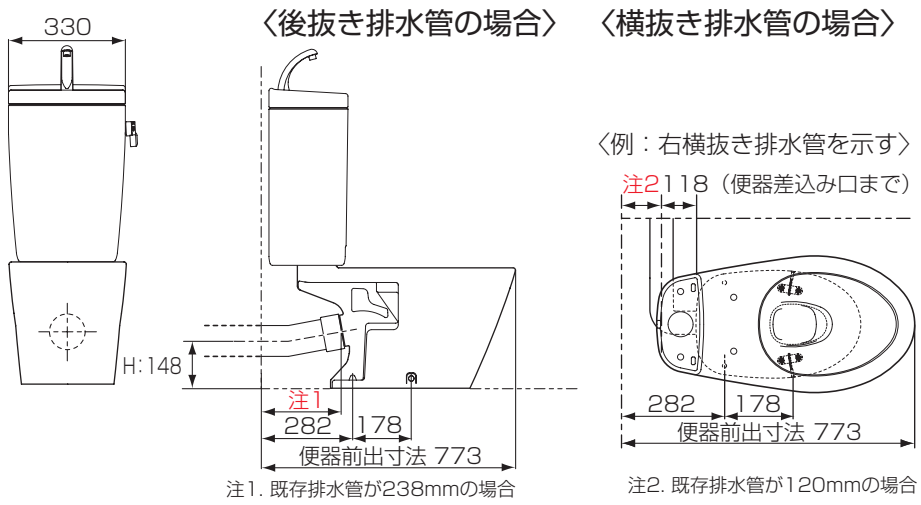
必ず実行

取付方法

1 固定片の位置決めと取り付け

❶下図を参照して、排水の接続が所定の位置になるように便器を仮置きし、便器取付木ねじの位置をけがく。
※このとき、便器中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。

（単位：mm）



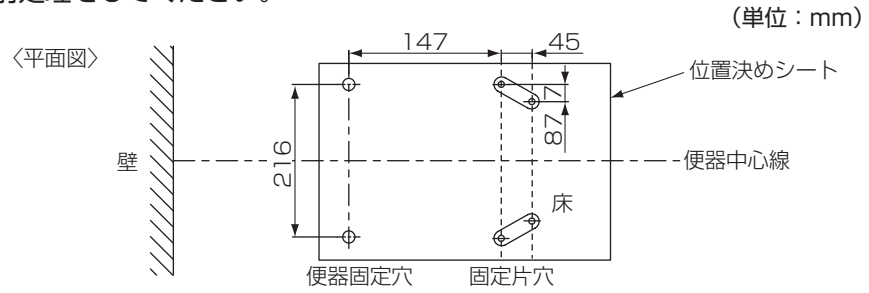
注1. 既存排水管が238mmの場合　　注2. 既存排水管が120mmの場合

※既存排水管の寸法が注1・2と異なる場合は、便器前出寸法が異なったり、もしくは取り付かない場合があります。

❷便器を外し、便器取付木ねじの位置と便器中心線を基準に位置決めシートを床面に置き、固定片の位置をけがく。　（下図を参照ください）

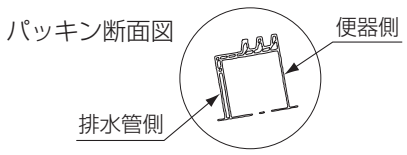
❸固定片を上記位置に合わせて床に固定する。
※床面がタイル・コンクリートの場合、固定穴6カ所に下穴をあけるなどの前処理をしてください。

（単位：mm）

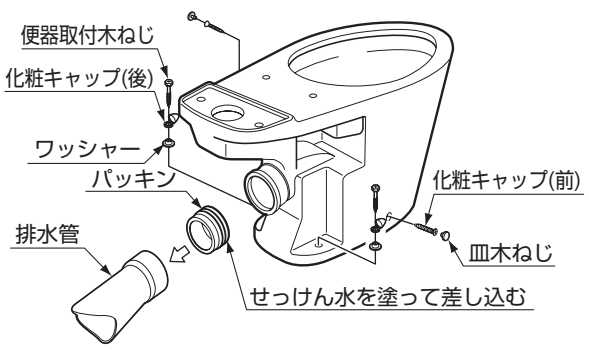


2 便器の取り付け

❶便器排水口に接続パッキンを取り付ける。
※接続パッキンの取付方向は、図を参照してください。　あらかじめ接続パッキンまたは排水管にせっけん水を塗って差し込んでください。



❷便器後部の固定を先にする。
側面の固定を先に行うと便器が左右へずれる場合があります。



※便器取付木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。

※排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

⚠注意

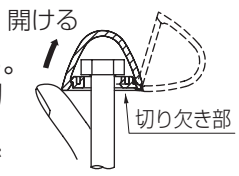
排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

必ず実行

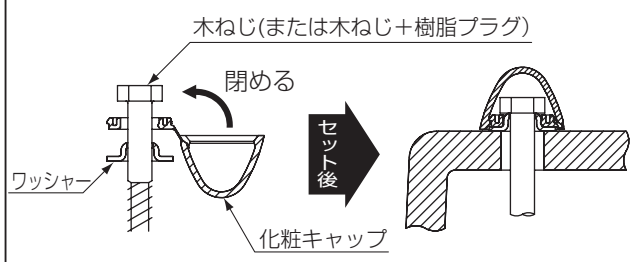
3 化粧キャップ付きねじの固定

＜取り付け＞

❶最初に化粧キャップを開ける。
開け方は、ねじを手で持ち切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。



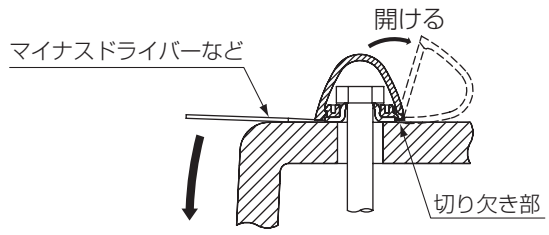
❷ねじを取り付ける前に、化粧キャップとワッシャーの順番、向きを確認し、間違えないよう取り付ける。



❸ねじを取り付けたあとは、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。

＜取り外し＞

施工後にねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



4 タンクの取り付け

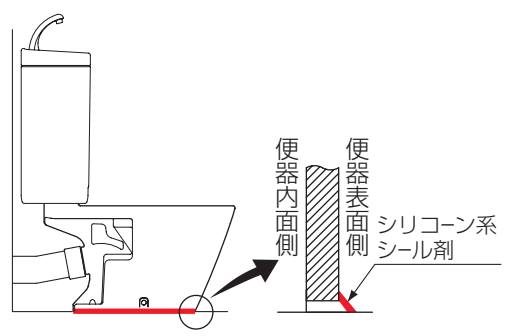
タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従ってください。

取り付け後の確認

- 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。
陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

便器袴下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床のシミを作ったりする原因になりますので、便器袴下部周囲に防カビ性の透明シリコーン系シール剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。



防振シート　HR800S(オプション品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小用時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付けることで、床を通じて階下へ伝わる小便行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートの厚み分(5)排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。